

福井しあわせ元気大会 2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ



「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会



全国障害者スポーツ大会について

全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典です。



全国障害者スポーツ大会
シンボルマーク

大会のあゆみ

全国障害者スポーツ大会は、平成13年に、それまで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」が統合され、宮城県で第1回大会が開催されました。

以降、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックと同様に、毎年国民体育大会終了後に開催されており、平成30年に福井県で開催される大会は第18回大会となります。

第18回全国障害者スポーツ大会について

大会の愛称

福井しあわせ元気大会

幸福度日本一といわれる福井県で、県民の元気と創意を結集し、しあわせを感じ、元気があふれる大会を創り上げます。県民みんなで全国からの参加者を温もりの心でもてなし、交流を通じて、しあわせと元気を全国に発信します。

大会のスローガン

織りなそう 力と技と美しさ

選手は持てる力と技と美しさを、福井県が誇る織物のようにタテ糸とヨコ糸に織りなし、競技に全力を尽くします。県民一人ひとり「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場で大会に主体的に参画します。これにより相互につながりを深め、みんなで感動を共有できる大会にしよう、という想いを込めています。

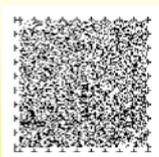
大会のマスコットキャラクター（国体と共通）



はぴりゅう

幸福度日本一、健康長寿、しあわせ元気を表す「はぴねす」と、福井県のダントツブランドである「きょうりゅう」をシンプルに組み合わせ、呼びやすく親しみやすい「はぴりゅう」と名付けました。

みんなの幸せと元気を応援！福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を力いっぱい盛り上げていきたいです！



開催基本方針

「すべての人が支えあい スポーツのすばらしさを未来へつなげる」

自然豊かで、伝統文化やコミュニティのつながりが多く残る「にっぽんのふるさと福井」で開催される第18回全国障害者スポーツ大会は、障がいのある人もない人もすべての人が、スポーツを通じて福井の元気としあわせを共有し、一人ひとりの夢と希望を明るい未来につなげる「福井しあわせ元気大会」を目指します。

選手は持てる「力と技と美しさ」を存分に発揮し、すべての人とスポーツの楽しさと感動を共有します。

県民は「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場でこの大会に参画し、障がいについて理解を深め、お互いに支え合いながら、心をひとつに織りなし、大会を創り上げます。

障がいのある人もない人も、スポーツのすばらしさや可能性を共有し、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる、しあわせな未来へとつなげます。

大会日程

本大会 /平成30年10月13日(土)～15日(月)
プレ大会 /平成30年5月下旬～6月上旬(予定)

10月11日 (木)	10月12日 (金)	10月13日 (土)	10月14日 (日)	10月15日 (月)	10月16日 (火)
選手団 来県	全国代 表者会 議・監 督会議 公 式 練 習 会	開 会 式	競 技	閉 会 式	選手 団 離 県
			競 技 オ ー プ ン		

県民運動

スポーツの感動を広め、子どもたちの明るい未来へとつながる大会の実現を目指すことを目的とし、県民一人ひとりがスポーツを「する」、「みる」、「支える」の様々な立場から参加できる多様な機会を創り出すとともに、県民の元気と創意を結集して展開します。

県民の皆さんの積極的な参加が、大会の成功につながります。

次の3つの基本目標に向かって、一緒に盛り上げていきましょう！

1 県民1 参加

全ての県民が主体的に携わり、地域が一体となって大会を盛り上げます。

1 県民1 スポーツ

スポーツの喜びを知り、生涯を通じた幅広いスポーツ活動に結び付けます。

1 県民1 自慢

全国からの来県者を温かくもてなし、福井の魅力を発信します。



実施競技

個人競技6競技、団体競技7競技 熱い戦いが繰り広げられます！

個人競技（6競技）



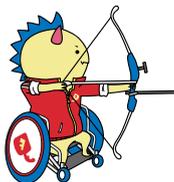
◎陸上競技（身・知）

身体障がいのある選手と知的障がいのある選手が出場する競技です。
競走競技、跳躍競技、投てき競技の3つがあります。スラローム、ピーンバック投げなど、障がい者スポーツ大会特有の種目を設定し、使用する用具を工夫するなどして、全15種目を実施します。



◎水泳（身・知）

身体障がいのある選手と知的障がいのある選手が出場する競技です。
自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの各25mおよび50mと、200mリレー、200mメドレーリレーを実施します。



◎アーチェリー（身）

視覚障がいを除く身体障がいのある選手が出場する競技です。
弓の違いによって、「リカーブ部門」と「コンパウンド部門」があり、それぞれの部門で、50m・30mシングルラウンドと30mダブルラウンドを実施します。



◎卓球（身・知）・サウンドテーブルテニス（身）

身体障がいのある選手と知的障がいのある選手が出場する競技です。一般の卓球と、視覚に障がいのある選手が、金属球が入ったボールを転がし、その音を頼りに打ち合うサウンドテーブルテニスの2種目を実施します。



◎フライングディスク（身・知）

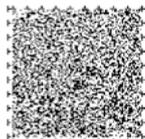
身体障がいのある選手と知的障がいのある選手が出場する競技です。
プラスチック製の円盤を投げて競う競技で、円形ゴールを狙う「アキュラシー」と、飛んだ距離を競う「ディスタンス」を実施します。



◎ボウリング（知）

知的障がいのある選手が出場する競技です。
ルールは一般のボウリングと同じで、4ゲームのトータルスコアで順位を決めます。男女別に少年、成年、壮年の部に分かれています。

このほかにも
オープン競技が
実施されるよ！



車いすテニス



ゲートボール ●



卓球バレー

団体競技（7競技）



◎バスケットボール（知）

知的障がいのある選手が1チーム5人で男女別に競技します。
ルールは一般のバスケットボールと同じです。



◎車椅子バスケットボール（身）

身体障がいのある選手が車椅子を使用して1チーム5人で競技します。
ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じです。ダブルドリブルはありませんが、ボールを持って3回以上車輪をこくとトラベリングになります。



◎ソフトボール（知）

知的障がいのある選手が1チーム9人（指名選手を採用した場合は10人）で競技します。
ルールは一般のソフトボールとほぼ同じですが、パスボールや振り逃げ、スクイズバント、盗塁は認められていません。



◎グランドソフトボール（身）

身体（視覚）障がいのある選手が1チーム10人（指名打者を採用した場合は最大12人）で競技します。

ハンドボールに似たボールを使用し、ボールの転がる音を頼りにプレーします。ピッチャーは全盲選手で、キャッチャーの掛け声や手ばたき音を頼りに転がして投球します。



◎フットベースボール（知）

知的障がいのある選手が1チーム9人（指名選手を採用した場合は10人）で競技します。
ルールは一般のソフトボールを基本としていますが、バッドやグローブは使わずに、ピッチャーがサッカーボールを転がし、キッカーがそれを蹴ってプレーします。
盗塁や死球はありません。



◎バレーボール（身・知・精）

身体（聴覚）、知的、精神障がいのある選手が競技します。

1セット25点のラリーポイント制で、2セット先取したチームの勝利となります。

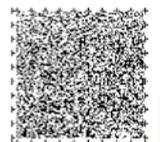
聴覚・知的障がい部門は、一般のバレーボールとほぼ同じルールで男女別に競技を行います。精神障がい部門は、ソフトバレーボールを使用し、男女混合で実施します。



◎サッカー（知）

知的障がいのある選手が1チーム11人で競技します。

ルールは一般のサッカーとほぼ同じですが、競技時間はハーフタイム10分をはさんで前後半30分ずつの合計60分で実施します。



大会を支えるスタッフ

大会を円滑に運営するためには、審判員等や競技補助員のほか、たくさんのボランティアの方々の協力が必要不可欠です。

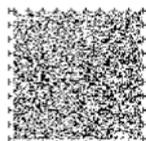
審判員等

競技運営、審判、競技記録等の業務を行います。



競技補助員

審査員等の指示を受けて、競技運営を補助します。



ボランティア

大会の開・閉会式や競技会の運営、手話通訳等にボランティアとして多くの県民の方々に参加していただき、県民の力で支える大会にすることを目指します。

大会運営ボランティア

各会場での受付・案内、会場整理・美化、会場サービスなどを行います。



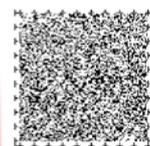
情報支援ボランティア

聴覚障がいのある方に対して、手話や要約筆記により、情報保障や案内などを行います。



選手団サポートボランティア

選手団の歓送迎・介助・交流等、来県から離県まで選手団と一緒に行動します。



福井しあわせ元気大会 2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年10月13日(土)～10月15日(月)

会場地のご案内

- 個人競技 6競技
- 団体競技 7競技
- オープン競技 3競技

坂井市
サッカー(知)
 丸岡スポーツランドサッカー場
 人工芝グラウンド
フライングディスク(身・知)
 三国運動公園陸上競技場
 多目的競技場



あわら市
バレーボール(知)
 トリムパークかなづ体育館



永平寺町
グランドソフトボール(身)
 松岡総合運動公園
 (you me パーク)



勝山市
バスケットボール(知)
 勝山市新体育館(仮称)



福井市
陸上競技(身・知)
 福井県営陸上競技場
車椅子バスケットボール(身)
 福井県営体育館
アーチェリー(身)
 福井市スポーツ公園サッカー場
 (兼ラグビー場)
ボウリング(知)
 スポーツプラザWAVE40
卓球パレー(身・知・精)
 福井県社会福祉センター体育館



大野市
バレーボール(身)
 大野市エキサイト広場
 総合体育施設体育館



鯖江市
卓球(身・知)
 (サウンドテーブルテニス含む)
 サンドーム福井
車いすテニス(身)
 鯖江広域西番スポーツセンターテニスコート




越前市
ソフトボール(知)
 武生東運動公園ソフトボール場



敦賀市
水泳(身・知)
 敦賀市総合運動公園プール
フットベースボール(知)
 敦賀市きらめきスタジアム



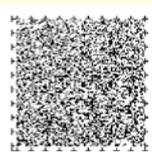
美浜町
ゲートボール(身)
 美浜町ゆうあいひろばゲートボールコート
 美浜町多目的屋内運動場(仮称)
 ゲートボールコート



小浜市
バレーボール(精)
 小浜市民体育館



身: 身体障がい者が出場できる競技
 知: 知的障がい者が出場できる競技
 精: 精神障がい者が出場できる競技



「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会
 〒910-0004 福井県福井市宝永2丁目4-10 福井県国体推進局競技式典課内
 TEL 0776-20-0747 FAX 0776-20-5058
 URL <http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>

2018 福井しあわせ元気国体・大会

平成 28 年 1 月 発行